

『平成26年度ふれあい事業 鏡ヶ成草原景観保全作業』

実施日時：平成26年11月15日（土） 10：00～12：00

場 所：大山隠岐国立公園 鏡ヶ成集団施設地区 （鳥取県日野郡江府町御机）

参加者：8名（募集定員15名）

天 候：晴れ

内 容：木道に沿って両脇1m程度の湿性植物を保全するため、湿原環境の乾燥をもたらす低木やササの片付け作業を行いました。

実施風景



注意事項等を確認した後に、参加者の皆さんで手分けをして、事前に刈り取られた木道周辺のササや低木の片付け作業を行いました。

ササの繁茂する場所では、草原や湿原の植物は競争に負けてしまい生育することができません。かつてあった生育環境の変化によって、希少となってしまった植物も少なくありません。



今回は、木道の維持管理のためにも、付近の低木を除去し、皆さんで片付けを行いました。

湿原の周囲に広がる草原も、現在は景観維持のための草刈りによって保たれていますが、かつてはひとの暮らしとの関わりの中で保たれてきたと考えられています。木道周辺に見える低木もかつてはこれほど広がっていなかったものです。



秋の終わりにこの作業を行うのは、冬に向けて草原や湿原の植物たちが活動を抑えている間に行うためです。寒い季節の作業ですが、皆さんで力を合わせて作業を行ううちに、少しずつ体も温かくなってきました。



保全区域内に設けられた伐採実証試験区でも、見られる植物に少しずつ変化が出てきました。

私たちの暮らしとの関わりの中で保たれてきた草原や湿原という自然環境ですが、今はその関わりも薄らいでいます。このような活動に参加することで、また違った視点で自然を楽しむことができるかもしれません。



作業後の木道の周囲は、地表面に日光があたるほどに明るくなりました。また次の春にどんな様子となるか確認をしながら、作業を進めていきたいと思います。

参加頂いた皆さん、本当にありがとうございました。